

## 令和 5・6 年度複合構造委員会 第 11 回幹事会 議事録(案)

日 時：2024(令和 6)年 12 月 12 日(木) 14:00～17:00

場 所：大阪工業大学 八幡工学実験場 会議室 Web 併用 (Zoom)

出席者：牧委員長，大山副委員長，皆田幹事長，大久保幹事，川端幹事，北根幹事，齋藤幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，藤林幹事，山本幹事，岡崎事務局（取消線は欠席）

### 配布資料：

- 幹11-0 令和5・6年度複合構造委員会第11回幹事会議事次第
- 幹11-1 令和5・6年度複合構造委員会第9回幹事会議事録（案）
- 幹11-2 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹11-3 委員会審議結果報告（H109，H111委員追加ほか）
- 幹11-4 令和6年度委員会予算執行状況
- 幹11-5-1 2025年度重点研究課題について
- 幹11-5-2 次期の重点研究課題の調査検討
- 幹11-6 令和7年度全国大会共通セッションテーマ申込みについて
- 幹11-7 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 幹11-8 土木学会論文集特集号（複合構造）
- 幹11-9 複合構造の継続教育
- 幹11-10 ~~300年暴露PJ報告~~
- 幹11-11 出版関連報告
- 幹11-12 ホームページ関連報告
- 幹11-13 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹11-14 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 幹11-15 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会
- 幹11-16 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹11-17 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会
- 幹11-18 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 幹11-19 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会
- 幹11-20 令和5・6年度 第4回委員会議事次第(案)
- 幹11-21 次期委員長候補者選挙について
- 幹11-22 複合構造委員会20周年記念式典実行小委員会の設立について
- 幹11-23-1 土木学会功績賞の推薦について
- 幹11-23-2 第54回日本産業技術大賞の推薦について
- 幹11-23-3 令和7年度 調査研究委員会 海外ジョイントセミナー実施テーマの募集
- 幹11-23-4 土木建築TF脱炭素WGからの調査依頼について
- 幹11-23-5 高速道路調査会 R7研究助成課題募集

幹11-23-6 新規小委員会の募集について

幹11-24 天神川橋現場見学会

議事内容：

#### 1. 委員長挨拶

牧委員長より開会の挨拶がなされた。

#### 2. 複合構造委員会第10回幹事会議事録(案) (幹11-1)

川端幹事より説明があり，修正無しで承認された。

#### 3. 2025年度重点研究課題について (幹11-5-1, 2)

- ・ 川端幹事より重点研究課題と「カーボンニュートラルに向けた土木構造物のあり方に関する実施すべき事項(案)」(以下，文書案)について説明があった。2025年度重点研究課題の申請書を12/11に提出した。
- ・ 文書案は，構造工学委員会のCN関連研究小委員会から，4構造系研究委員会の連名で公表する。
- ・ 文書案は，各研究委員会からのご意見を踏まえて修正中であり，1/16のパネルディスカッションで公開予定である。各親委員会のホームページにアップロードの依頼があり，複合構造委員会も掲載する。12/26の構造工学委員会で最終確認後に幹事会へ展開する。

藤林幹事より，2026年度以降に向けた重点研究課題の調査検討について説明があり，全国大会研究討論会企画募集および新規小委員会の募集とあわせて議論した。

《2026年度以降の重点研究課題，新規小委員会の募集》

- ・ 「複合構造インフラの海外展開(輸出)に向けた調査研究」は，重点研究課題の後に新規小委員会の設置が可能ではないかとの意見があった。
- ・ 「複合構造の設計・調査・診断技術へのAI技術の活用に関する調査研究」は，Society5.0の後継として新規小委員会を設置してはどうかとの意見があった。
- ・ 新規小委員会の設置は5月の幹事会までには企画案を決定して，第1回の親委員会で審議できるように進める。

《研究討論会企画募集》

- ・ 「複合構造インフラの海外展開(輸出)に向けた調査研究」を，新規小委員会のキックオフとして実施してはどうかとの意見があった。
- ・ H219とH223の弾性合成桁に関するテーマで実施できないかとの意見があり，大垣先生を座長として開催できないか大久保幹事に確認いただくことになった。

#### 4. 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担 (幹11-2)

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 共通示方書改訂小委員会について，松本先生(北大)の任期が終了しており，牧委員長に後任の候補者を探していただく。

## 5. 委員会審議結果報告（幹 11-3）

皆田幹事長より、3件の審議事項について承認されたことが報告された。

- ・ 複合構造技術の発展に関する調査研究小委員会（H109）の委員追加
- ・ カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（H111）の委員追加
- ・ カーボンニュートラルに向けた土木構造物のあり方に関する実施すべき事項（案）の複合構造委員会を含めコンクリート委員会、鋼構造委員会、構造工学委員会連名による公表について

## 6. 複合構造委員会 20 周年記念式典実行小委員会の設立について（幹 11-22）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 10周年のスタイルで進めていくこととし、11/27にキックオフ会議を開催。委員構成は、瀧本委員長、溝江幹事長、大久保委員、齋藤委員、川端委員、皆田委員（連絡幹事）とした。
- ・ 常設小委員会（例えば「記念行事実行委員会」等の名称）を設置することとし、次回の親委員会で常設小委員会の設置と委員構成について審議する。
- ・ 実施候補日は、12/4(木)、12/5(金)、12/11(木)の3日間で、12/5(金)が有力である。
- ・ 10周年記念の際に、委員会以外で外部の方も参加していたか確認する。

## 7. 令和6年度委員会予算執行状況（幹 11-4）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 前回から、委員長選挙の切手代の支出が追加となっている。

## 8. 令和7年度全国大会共通セッションテーマ申込みについて（幹11-6）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 来年度は口頭発表（熊本大学）とポスターセッション（熊本城ホール）の2つの発表形式が設けられており、申込みは口頭発表で提出した。

## 9. 令和7年度全国大会・研究討論会企画募集

2025年度重点研究課題で議論済みのため割愛

## 10. 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（幹 11-7）

仁平幹事より説明があった。

- ・ 11/7(木)、11/8(金)に開催し、参加者数は78名であった。
- ・ 優秀講演者は3名選出した。
- ・ 来年の複合構造シンポジウムは建築学会主催となるため、建築学会との調整を松本幸大先生にお願いしている。
- ・ 講演原稿（論文）はCD配布を廃止し、ウェブサイトからのダウンロードとした結果、好評だったため、次年度以降も継続する。

## 11. 土木学会論文集特集号（複合構造）（幹 11-8）

桜庭幹事より説明があった。

- ・ 英文誌の Emerging Sources Citation Index (ESCI) 申請にあたって特集号英文の対応案が 3 案検討されており、編集小委員会幹事団からは対応案 1（通常号の一部として掲載）で回答しているが、将来の和文誌の対応も見据えて幹事会の意見を聞きたい。
- ・ 特集号（複合構造）を開始してから約 10 年になるが、英文論文は掲載されていないので、幹事団の対応案 1 でよいのではないかとの意見があった。

幹事会からの質問に対して、桜庭幹事より説明があった。

- ・ 対応案 1 を進めた場合、特集号英文は、通常号の論文と同じ扱いとなるが複合シンポや FRP シンポで発表したことがわかるようなラベルを設けることはできるとの回答を事務局から得ている。
- ・ 査読依頼は、特集号の編集委員で複合構造の専門性をもって決められていたが、通常号になると特集号の編集小委員会としては関与できないため、これまでの特集号と異なる論文集になる可能性を懸念している。
- ・ 土木学会論文集編集調整会議において、通常号の編集委員メンバーの構成を検討する段階ではなく、まずは、対応案を選定している段階である。
- ・ 特集号和文も含めた将来の対応案が 3 案検討されており、対応案 3（土論とは別の論文集として刊行）を採用した場合、将来的に複合構造委員会専用の投稿システムの導入が必要になる可能性がある。

## 12. 複合構造の継続教育（幹 11-9）

齋藤幹事より説明があった。

- ・ 第 8 回複合構造セミナーを 11/26(火)にハイブリッドによる講義形式で開催した。参加人数は、土木学会講堂 37 名、オンライン 93 名であった。
- ・ 親委員会のメンバーを対象とした現場見学会を検討しており、合成桁の現場を探している。親委員会委員の顔合せの機会や他の行事と重複しない時期として 5~6 月頃の開催を予定している。
- ・ 複合構造セミナーについて、FRP 向けの学習（基礎学習や適用事例の紹介等）を若手技術者に対して実施できないかのご意見があり、今後検討していくことになった。

## 13. 300 年暴露 PJ 報告

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 12/12(木)の午前中に第 1 回小委員会を開催した。
- ・ ずれ止め試験体および支承ゴム試験体の報告があり、蓄積したデータは H007 のウェブファイルマネージャに保存して管理することとなった。
- ・ ゴム支承協会の方にオブザーバーで出席いただいたが、来期は委員として参加いただく。
- ・ ゴム支承協会より、3 年目（2025 年）までの試験結果について対外論文発表を行いたいとの申し出があり、投稿の際は、複合構造委員会の試験体であることを明記いただくことになっている。

## 14. 出版関係報告（幹 11-11）

平幹事より説明があった。

- ・ 複合構造標準示方書について、複合構造標準示方書小委員会の斉藤委員長から事務局へ、2/1原稿入稿と連絡を行っているとのことであった。

## 15. ホームページ関連報告（幹11-12）

山本幹事よりホームページの修正箇所および問合せについて説明があった。

- ・ 12/4 に長崎大学に在学中の留学生より、「基礎からわかる複合構造」の英語版について問合せがあり、pdf データを送付した。

## 16. 小委員会報告審議事項

### (1) H101 複合構造標準示方書小委員会（幹 11-13）

仁平幹事より報告があった。

- ・ 意見集約に対して WG 内で修正を行っている。1/27 の親委員会で最終原稿の審議を行う予定である。
- ・ 1月上旬頃に修正原稿を確定し、エディトリアルチェックを依頼したいとの説明があった。

### (2) H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会（幹 11-14）

仁平幹事より報告があった。

- ・ 12/5 に第 8 回の委員会を開催した。
- ・ アンケートを 1 月 27 日の親委員会で説明し、親委員会や小委員会の委員を対象に実施する。
- ・ 報告会は、別の講習会と同時開催したいと考えているが、書籍の販売や参加費等の課題もあるため、開催方法については引き続き検討する。

### (3) H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（幹 11-15）

川端幹事より報告があった。

- ・ 11 月 12 日に第 1 回全体委員会を開催した。
- ・ 第 2 回全体委員会は令和 7 年 1 月～3 月の間に開催予定である。

### (4) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（幹 11-16）

川端幹事より報告があった。

- ・ 委員会を12月18日に開催予定である。
- ・ 令和7年10月31日に報告会（土木学会講堂）を開催予定である。

### (5) H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会（幹11-17）

皆田幹事長より代理報告があった。

- ・ 報告書の発刊は令和 7 年 12 月を目標に執筆。
- ・ 第 7 回小委員会を 12 月 23 日に大阪（大阪公立大梅田サテライト）で開催予定。

(6) H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会（幹 11-18）

内藤幹事（小委員会委員長）より報告があった。

- ・ 11月25日に第4回委員会を開催した。次回は令和7年4月頃を予定している。
- ・ 令和7年4月までに実験を予定しており、小委員会委員長と幹事長で計画中である。

(7) H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会（幹 11-19）

山本幹事より報告があった。

- ・ 活動期間は、12月から2年間を予定している。
- ・ 令和7年1月31日に第1回の全体委員会を川田テクノシステムで開催予定である。

## 17. 令和5・6年度 第4回委員会議事次第(案)（幹11-20）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 特に追加・修正事項はなし

## 18. 次期委員長候補者選挙について

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 12/9に申し込みが締め切られ、1名の推薦があった。
- ・ 投票について、構造工学委員会ではGoogleフォームで実施しているとの情報があった。
- ・ 選挙権は委員が対象で顧問は含まれないことが確認された。

## 19. その他

### (1) 土木学会功績賞の推薦について

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 今年度の複合構造委員会からの推薦者はなし。

### (2) 第54回日本産業技術大賞の推薦について

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 親委員会に11/29ㄨ切で配信したが、連絡はなかった。

### (3) 令和7年度 調査研究委員会 海外ジョイントセミナー実施テーマの募集

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 親委員会に配信済みであり、現在募集中である。

### (4) 構造系三委員会の意見交換会

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 次回は1/6（金）14:30から開催される

### (5) 土木建築TF脱炭素WGからの調査依頼について

皆田幹事長より，複合構造委員会の脱炭素の取り組みに関する調査依頼について説明があった。

- ・ 「H111カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会」の内容について追記して提出した。

#### (6) 高速道路調査会 R7研究助成課題募集

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 親委員会へ配信済みで現在募集中である。

#### (7) 新規小委員会の募集について

2025年度重点研究課題で議論済みのため割愛

#### (8) 12/13天神川橋現場見学会について

皆田幹事長より，集合時間，集合場所，移動手段等について説明があった。

#### (9) 第12回幹事会について

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 第12回幹事会は3/14-15に開催予定であり，場所は今後調整する。

## 20. 閉会挨拶

大山副委員長より閉会の挨拶がなされた。

以 上  
(記録：山本)